

■レッスンの参加人数、コート面数等につきましてご意見がございましたら教えてください。：野村

●コートの確保等難しい面もあると思いますが、なるべく子供には少人数レッスンでたくさんボールを打つ練習をしてほしいです。またスイングのフォームなど変な癖のつく前に指導してほしいと思います。

A. 確かに、たくさんボールを打つことは上達するうえで重要になってきます。子ども達にとって集中した状態でたくさんボールを打つ環境を作るために、4月からのアカデミーのクラス分けを行いました。

またフォームに関しては、正しいフォームが良い打球を打てるとは限りません。まず「自分で気づき、工夫する」ということが重要になってきます。「そのフォームが変だから打ち方を変える」というよりも「自分で気づき、工夫した打ち方を伸ばす」指導をしています。

●コート一面に対して4人から6人までなら球がよく打てて良いと思う

A.4月からのアカデミークラスの再編成で、1クラスの人数が変化し、1人1人が集中して多くのボールを打てる環境になります。

また各コーチもメニューや時間配分などの工夫を常に行い、子ども達にとって最善の手法を常に考えています。

●もう少し1面あたりの人数を減らして、ボールを打てる時間を長くして、1日の練習時間を短くしてほしいです。

A. アカデミークラスの再編成により、コート面数に対しての人数は変わってくると思われませんが、練習時間に関する短縮は現在のところ考えておりません。

なぜなら、練習時に子どもたちは自らの考えた課題やコーチから与えられた課題に取り組む、ドリル練習、ラリー練習、実戦や形式練習など、練習には学習の意味もあります。学習にはある程度、選手自身が気付いたり、整理したり、試したりと、時間を使う必要もあります。それにより子どもたち一人ひとりに成長の機会を与えてあげることができます。

またクラスによっては求めていくレベルがあり、そのためには身体的に負荷を掛け、その中でいかに集中して行えるか？行い続けられるのか？といった、1ゲームではなく、1セットや3セットマッチをプレーできるように、テクニックだけでなく、フィジカル要素やメンタル要素にも力を入れております。

試合に出場していると長くギリギリの試合が必ず来ます。しかしそれはいつかは分かりません。いつ来るか分からない以上、普段の練習で長時間の練習に耐えるだけの体力と集中力をつける訓練をしています。長く、ギリギリの試合で勝つには本人含め、保護者のご協力が必須となりますので、よろしく願います。

■練習時の雰囲気やクラスに対して気になることはありますか【お子さまのご意見】：黒田

●フリーコースの友達に、「お前はフリーコースじゃないのに…」と言われることがあったそうです。

A.子どもたち同士のこととはいえ、お子様に不快な気持ちをさせてしまい、申し訳ありませんでした。僕たちは、子どもたちに柔軟な対応を心がけています。

しかし、その柔軟さを子供たちはすぐには理解できず、疑問を持ち、そのまま口にします。とても子供らしい素直な反応であるのと同時に柔軟な対応の難しい点でもあります。

スタッフ一同、より一層良い環境が子どもたちに提供できるように努力致していきます。テニスが続けていく中で、受講コースについてのご相談は、ご連絡もしくは僕たちにお声かけをお願い致します。

●毎回ではないですが、レッスン中にふざけている子がいる時は、なかなか集中できない日があるそうです。

A.決して、練習中にふざけることを良しとはしません。しかし、集中力が切れたり遊びに意識が向いたりすることは、誰にでもあります。

子供たちはテニスを通じて、自ら集中力を長く保とうとしたり、遊びの誘惑に負けないように耐えることを学び、訓練している最中です。そのために、大会という目標を持ち、チームという団体の中で過ごす環境をユニークでは作っています。

もちろん、目標が違えばその過程も変わります。だからこそ、同じ目標を持ったメンバーで練習出来る様に、アカデミッククラスを4月から編成することを決めました。

●ボール拾いや片付けの時にしゃべったり固まって動いたりしているので、要領が悪く感じる。

A.要領が悪いことで受けるマイナスは、実際に受けてみないとマイナスだと気が付きません。なぜなら、その瞬間は要領が悪い方がプラス(楽)だからです。

目先のプラスより、将来(目標)にとってのプラスを選択出来る様に、子供たちは練習の中で学び、訓練している最中なのです。

子供たちには、今後もコーチから指示を受け、要領が良くなる方法を学びつつ、自主的にそれが出来るのかを試し続けてもらおうと考えています。

●2つにわけてやるときにいろんなメンバーとやりたい

A.練習時のメンバー分けは、その日の状況(時期,顔ぶれ,体調,精神面 etc)によって決定します。その中でも大切

にしているのは、その子の目標とそれに対する意識(モチベーション)です。

いつも似たメンバーになりやすいのは、目標は毎日変わるものではなく、その日の楽しさや刺激よりも、目標に向かって毎日積み重ねることが大事だと考えているからです。

もちろん、楽しさや刺激も必要なので、今後も全員で一緒にするメニューも続けていきます。

●みんなのやる気があるのかないのかわからない みんながもう少し高い目標を持ち、日々の練習が集中したい
いい雰囲気練習したい

A.やる気が表に出る子も出ない子もいますが、最優先がテニスだけではなく、勉強やその他が含まれる子もいます。

すでにお伝えしておりますが、4月からはアカデミークラスの編成を決めました。その理由は、目標が違えばその過程も変わり、互いに良い影響を与えないと考えたからです。

そして、アカデミーの雰囲気が変わることで、強化クラスにも影響を与えていきます。

●ふざける子が居てやめて欲しい。

A.決して、練習中にふざけることを良しとはしません。しかし、集中力が切れたり遊びに意識が向いたりすることは、誰にでもあります。

だからこそ、練習中にそういった子が居た場合には、周りの生徒が注意する環境を作っています。そうすることで、集中力の切れた生徒も周りに迷惑がかかっていることに気付き、何とか集中し直そうとします。

「One for all, All for one(ワンフォーオール, オールフォーワン)」 そんな感覚をラグビーでなく、テニスを通じて学んでほしいと考えています。